

令和4年度第2回小牧市立中学校制服検討委員会会議録

1 開催日時	令和4年11月22日(火) 午後3時30分から
2 開催場所	小牧市役所本庁舎404会議室
3 出席	田口委員長、堀田委員、山本委員、牧野委員、永井委員、森川委員、辻ノ上委員、櫻井委員、和泉委員、兼子委員
4 欠席	0人
5 事務局	伊藤教育部次長、安部学校教育課長、采女管理指導主事、高堀指導主事、山下学校教育課係長、小林学校教育課主査
6 傍聴者	0人
7 議題	(1) 制服見直しに関するアンケート結果及び今後の方向性について (2) 制服見直しにかかる今後の進め方について

<開会 午後3時30分>

1 開会

事務局：山下係長)

皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

また、当初予定の日程からの変更にご協力くださり、ありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より、「第2回小牧市立中学校制服検討委員会」を開会いたします。

私は、司会を務めさせていただきます。小牧市教育委員会学校教育課係長の 山下です。よろしくお願いいたします。

資料確認

事務局：山下係長)

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

本日配布させていただきました資料として

- ・次第
- ・資料1 小牧市制服見直しに関するアンケート結果
- ・資料2 小牧市立中学校新制服選定コンペ実施要領(案)
- ・座席表

でございます。不足などがございましたら、お申し出ください。

傍聴について

本委員会は、「小牧市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき開催するものでございます。そのため、個人が特定可能な議題などを除き、原則公開として開催させていただきますと思います。よろしいでしょうか。

(質問・意見なし)

本日この会議の傍聴者は0人です。

(1) あいさつ

事務局：山下係長)

開会にあたりまして、采女管理指導主事よりあいさつ申し上げます。

事務局：采女管理指導主事)

イチョウの葉も、色づきはじめ、秋の深まりを感じる頃になりました。

朝の気温も下がり、葉についた露が、朝日にキラキラと溶けていく様子、手に「はあ〜」と息をかけながら、談笑しながら登校する子どもたちの姿に、清々しい1日の始まりを感じる日も多くなりました。

中学校において、気候の変化にあわせて、体操服登校から、制服登校へ移行した学校が増えました。

10月、第1回検討委員会で委員の皆様にご議論いただいた内容をもとに、制服に対するアンケートを実施し、6,341件の回答をいただきました。

今まで、何気なく着ていた制服、身近にある制服について、様々なご意見を賜りました。

特に「制服に期待することは何ですか」の問いには、自由記述にもかかわらず、3,600件以上もの建設的な意見をいただいております。

私は、この制服の検討を一つのきっかけとして、各学校において、新たな学びの「場の創造、構築」につながるといいなあと考えています。

本日は、今後の中学校の制服の在り方、方向性について、委員の皆様にご検討いただきます。

限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見を頂戴できるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上、甚だ簡単ですが、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。

事務局：山下係長)

それでは、ここからの取り回しにつきましては、田口委員長にお願いしたいと思っております。委員長よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 制服見直しに関するアンケート結果及び今後の方向性について

委員長)

それでは、議事(1)制服見直しに関するアンケート結果及び今後の方向性について、事務局より説明を求めます。

事務局：安部課長)

制服見直しに関するアンケート結果について説明いたします。

資料1をご覧ください。

期間は、10月5日～30日に実施しました。

対象者は、中学生、小学校5年生～中学校3年生の保護者、中学校勤務の教員で、6,341人から回答いただきました。

P2P3をご覧ください。「制服の見直しをする必要があると思いますか。」という問いへの結果です。

こちらは、選択肢が「必要があると思う」「必要がないと思う」「何も思わない」という3択であったため、「何も思わない」方の意向が把握しづらい結果となってしまいました。

「必要があると思う」「必要がないと思う」と回答した方については、意思がはっきりわかりますが、「何も思わない」と回答した方が、本当に何も思っていないのか、今の制服についてどう考えているのか、読み取っていく必要があると考えました。

その視点をもってアンケートの集計を進める中で、「何も思わない」と回答していても、問5「不便なところ、改善を望むところ」で、きちんと意思を示していただいていることがわかりました。

「見直しをする必要があるか」の問いは、今後見直しをする必要性を判断する上で必要なものと考えます。

問1の「見直しをする必要があるか」の問いに「何も思わない」と回答した多くが、問5の「不便なところ、改善を望むところ」で、今の制服に「不便なところがあり、改善を望んでいる」ことがわかりました。

そのため、「何も思わない」と答えた方を、“今の制服に対してどんな回答をしたのか”によって、さらに次の3つに分けて、円グラフを作成しました。

3つの分け方は、一つ目として、「動きにくい、きゅうくつといった機能性」や「気温に合わせて調整できないといった寒暖差への対応」と回答した方です。この意見については、制服の見直しをすることで、大きく改善できると考えられるものでもあります。

二つ目として、「着心地やデザイン、価格等について改善を望む」と回答した方、三つ目として、「特にない」に回答した方で分けました。

さらに、中学生においては、「制服の見直しをする必要があると思いますか。」の問いに、性別により結果に違いが見られたため、性別ごとに分けた上で、「何も思わない」と回答した方を“今の制服に対してどんな回答をしたのか”によって、3つに分けて集計いたしました。

結果、中学生では、今の制服に対して見直しを望む意見は男子66%、女子78%、答えたくない85%でした。

こちらは、詰襟の男子の方が、セーラー服の女子より上着の着脱が可能な分、寒暖差に対応できるため、こういった結果になったのではないかと分析しています。また男子でも、自由意見で、寒暖差に関してではなく「詰襟が苦しい」という意見は多くみられました。

保護者と教員の結果は、「見直しの必要がある」と回答した方は、7割を超えておりました。

P4をご覧ください。「現在の制服で、よいと思うところはどこですか。」についてです。

中学生、保護者、教員ともに、6割以上が「特にない」という回答でした。

その他の意見として、「制服を着ると気持ちが引き締まる。」、「毎日服を選ばなくて良い。」「伝統を感じる。」「統一されているので、収入格差が分からなくて良い。」、「一体感や緊張感が生まれて良い。」といった意見がありました。

P5をご覧ください、「現在の制服で、不便なところ、改善を望むところはどこですか。」についてです。

中学生では半数以上が「動きにくい、窮屈」と回答しています。また、「気温に合わせて調整できない」という意見も多くみられました。

保護者では、「購入価格が高い」という意見が半数を超えており、「気温に合わせて調整ができない」という意見も4割を超えています。

教員については、「気温に合わせて調整できない」と「性別によってボトムが決まっている」という意見が半数以上でした。

P6をご覧ください。「新しい制服を導入する場合の重要な要素」についてです。

結果、中学生は「機能性が高く動きやすい物」、「寒暖差に対応できる物」を望んでおります。

保護者は「手入れのしやすさ」や「経済的なもの」を求める声や「機能性が高く寒暖差へ対応できるもの」を求める意見が多くありました。

教員は、「寒暖差への対応」と、「性別によらず制服が選べること」を求めていることが分かりました。

P7をご覧ください、「新・旧異なる制服の生徒が、同じ学校内で過ごすことについてどう思うか」についてです。

結果は、中学生、保護者、教員、すべての区分の方に、半数以上、「良いと思う」と回答頂きました。

P8P9は記述式の質問の結果について記載しています。

こちらには、中学生については、2,404件、保護者は1,132件、教員106件と沢山の意見を頂きました。

大まかに分類したものが、この資料です。後日、全ての意見を市のHPに掲載する予定です。

事務局としましては、アンケート結果から、それぞれの立場からの意見や意向が把握できたものと考えます。

委員長)

事務局からアンケート結果について説明がありました。

アンケート結果について、及び今後の方向性について、ご意見、ご質問はございますか。

堀田委員)

いろいろ集計されているかと思いますが、「そもそも制服は必要ない」という意見はどれぐらいありましたか。

事務局)

件数や割合としては把握していませんが、中学生、保護者どちらからも、「今、体操服登校をしているのに制服は必要なのか」といった意見は沢山出ました。

永井委員)

過去に朝日新聞が制服に関するフォーラムを開催し、アンケートを実施していますのでご紹介します。

そこでの結果は、53%ぐらいは「現在の制服は改定が必要」と回答しており、全国傾向と小牧市アンケート結果は一緒であります。

もともと現在の制服は、海軍の制服であり、時代にそぐわないということもあると思います。

また、他市町の調査結果も見てみると、保護者は「手入れのしやすさ」を求める回答をしており、こちらも小牧市と傾向は一緒でした。なお、子どもたちは「デザイン性」を求める意見が多い傾向があります。

委員長)

堀田委員からは、「制服が必要なのか」という意見の割合、永井委員からは、過去・他所のアンケート結果と小牧市の結果の比較についてご意見を頂きました。

和泉委員)

「何も思わない」という子が多いな」というのが率直な感想です。

おそらく今の子は「体操服登校で制服を着ていない」ので、“ピンとこない”のだと思います。「何も思わない」が寒暖差への対応を望んでいる」等、「何も思わない子」の意見を分析頂いた通り、実際もう少し改定を望む子は多いのだと思います。

委員長)

和泉委員の意見の通りであり、また、資料1のP2の記載と事務局説明を振り返りますと、「何も思わない」生徒でも、現在の制服に関して、男子66%女子78%答えたくない85%の生徒が「今の制服に何等か改定を求めている」のではないかと考えられます。

山本委員)

アンケートによって、中学生である「着ている本人」の意見がきいてもらえて良かったと思います。

「きゅうくつ」というのは、親としては気づけませんでした。金銭面や手入れのことを親は考えがちでした。

またアンケートによって、子どもと一緒に何気なく着ていた制服を見つめなおす機会となったことや、大半の方が、「改変を望んでいる」ということが分かったことも、良かったと思います。

記述意見の中で、「ひだスカートはアイロンに手間がかかる」ということがありま

すが、“アイロンを自らかける”、“物は大切に扱う”ことを学べるものでもあるとも改めて思いました。新しい制服でも「手入れの手間」は残ると思いますが、制服により経験ができたり学べることがあるのも、子どもにとって良いと考えます。

委員長)

生徒と保護者、教員のそれぞれの立場で回答が違ったことについてご意見を頂きました。また私も、アンケートによって家で子どもと保護者が話す機会となったと聞いていますので、山本委員の意見の通り、親子の会話につながったと感じています。

永井委員)

論点がずれてしまったら申し訳ないのですが、他の自治体で「準制服」を採用している面白い事例があるので紹介したいと思います。

小牧市でも、「手入れがしやすいものが良い」という意見が多く出ていると思いますが、他都市では「ユニクロは使えないのか」という保護者の意見があり、実際、三重県の鳥羽市がユニクロを「準制服」として採用した事例があります。

洗い替えは「制服」では難しいですが、ユニクロならネットでも買えて洗い替えとできます。

小牧市で必ずしもユニクロを採用する必要はありませんが、参考に情報を提供したいと思います。

委員長)

永井委員より事例の紹介がありました。それに対して他に意見はありますか。

堀田委員)

保護者の立場として、制服は高価で1着しか買わないので、衛生面が良くないとは思っています。家では簡単に洗えません。

アンケート結果でも、保護者が安価なものを求める意見が多かったと思います。安価になれば、複数枚買え、洗い替えも用意できるので良いとは思っています。

春日井市では、見直した制服が安価になっていませんでした。小牧市では安価になるとよいと思います。

委員長)

アンケート及び今後の方向性について、ご意見も出尽くしたようですので、制服見直しについて、皆様の意見をまとめたいと思います。

制服見直しについては、見直す方向で進めてよろしいですか。

(異議なし)

(2) 制服見直しにかかる今後の進め方について

委員長)

それでは、議事(2)制服見直しにかかる今後の進め方について事務局より説明を求めます。

事務局：安部課長)

制服見直しにかかる今後の進め方について説明いたします。

先ほどアンケート結果についてご意見を頂きありがとうございました。

事務局としましては、現在の学生服に加えて、三つ目の制服を導入する方向で進めたいと考えています。

アンケートの記述にも、「兄弟の制服を使いたいと思っていた」であったり、「セーラー服にあこがれている」という回答がありました。

切り替えるとしても、数年間は新旧が混在する移行期間になりますので、小牧市は「選択肢を増やす」方向で進めたいと考えています。

アンケートに沢山意見を頂いた中、みなさまの意見をできる限り反映させたいと考えています。

そのため、コンペによりデザインを3点ほど選出し、その3点から1点を子ども達や保護者、教員に投票頂き決定する方法で進めたいと考えています。

資料2実施要領をご覧ください。

実施要領は、事業者がこれを読んで応募する資料ため、事務的な手続きも書かれています。委員の皆様には、基本的な部分とこの場で議論頂きたい部分を中心にご説明いたします。

「1目的」ですが、現在の学校指定制服に、選択肢を加える形で、新たな制服を導入することとしました。令和6年4月から、新制服を導入していきたいと考えています。と記載しています。また、市内中学校9校統一とすることで価格を押さえたいとして記載しています。要望や必要に応じて、付属品等により各学校の差別化を図ることも検討するとしています。

「2内容」ですが、事業者の提案をもとに、市立中学校9校統一で採用する新制服のデザイン及び新制服に関する仕様を選定する。縫製方式は、各社縫製方式とする。といたしました。

一括縫製方式と各社縫製方式があり、一括縫製方式では、メーカーが1社に決まり、生地も品質も統一した物の供給が可能になりますが、販売店はメーカー1社から品を仕入れるので、価格等について競争の原理が働きません。

各社縫製方式では、コンペと投票で決定した「仕様」をメーカーに開示いたします。これにより、開示された「仕様」によりメーカーが作成した制服が、「仕様に沿っているか」市において確認が必要となりますが、販売店はいろいろなメーカーから仕入れることができるので、競争の原理が働きます。メーカーによって“ストレッチ素材”や“抗菌”、“とにかく安い”など、いろいろ競争して特徴を出してくるので、選択の幅が広がります。

今回小牧市は、その2つの内、各社縫製方式を選択いたします。

「3制服選定フロー」ですが、まず、コンペ参加事業者を公募により募集いたします。

一次選定としまして、小牧市立中学校制服検討委員会委員を審査員とするコンペを実施し、各事業者からの提案書等提出書類、制服製品見本及びプレゼンテーションをもとに、制服デザインを3点程度選定いたします。

二次選定では、一次選定で選ばれた制服製品見本を、各小中学校巡回したいと考えています。その他市 HP での画像展示や、市民センター等での展示を行うなどし、何らかの形で実物を見て頂いたうえで、市内児童生徒及びその保護者等による投票を実施し、投票の結果により、制服デザイン1点を選定する予定です。

「4 募集内容」ですが、市内中学校における“制服一式”としました。また、スラックスやスカート等のボトム柄は統一のものとすると記載しました。

デザインがブレザータイプですと中に着るものが必要になりますが、中に着るシャツやブラウスはコンペ対象外としました。中に着るものは、各学校で生徒とともに話し合うなどして決定して頂きたいと考えています。

「8 提案の内容」ですが、ここについて委員の皆様にご協議頂きたいと思います。事務局案は資料の通り

- ア 企業の特徴や事業内容、今までの実績(県内の中学校及び高等学校の制服)について
 - イ 提案する制服のコンセプト
 - ウ 動きやすさ、寒暖への対応、着心地、着脱のしやすさ等について、どのように考えるか。
 - エ 家庭で洗濯できる等、制服の手入れのしやすさについて、どのように考えるか。
 - オ 様々な体格の中学生に対応できるサイズ展開について、どのように考えるか。
 - カ アフターフォロー（成長に合わせたサイズ調整等）について、どのように考えるか。
 - キ 販売想定価格について、保護者負担が現在の従来の詰襟学生服やセーラー服より増えないことが望ましい。低価格化するための提案及び、負担が増える可能性がある場合、どのような理由があるか。
 - ク 9校統一制服とするが、できるだけコストをおさえつつ、各校を差別化する方法の提案。
 - ケ 本市の中学生が新しい制服に愛着を持てるようにするために、どのような工夫ができるか。
 - コ “小牧市らしさ”をどう表現するか。“小牧市らしさ”の提案。
 - サ 事前アンケートに基づく本市の制服における課題(前述のもの以外)で解決できるものがあれば、その提案。
- としています。

「9 コンペの実施」ですが、日付としては令和5年1月13日金曜日の午後を予定しています。時間は参加する事業者の数によって変わるので、詳細は決まり次第できるだけ早くお知らせします。会場は市役所本庁舎6階会議室です。

コンペの際、委員の皆様にごどのように採点頂くかですが、P8をご覧ください。別表として選定基準を示しています。

この選定基準は、先ほど説明しました「提案内容」にリンクするようになっています。例えば、別表内のデザイン「1 寒暖差への対応」や「2 動きやすさ」については、

提案の内容「ウ 動きやすさ、寒暖への対応、着心地、着脱のしやすさ等について、どのように考えるか。」に対するものになっており、「3 清潔感があり」は、提案内容の「イ」「ウ」、「4 好感や愛着」は「イ」「ケ」「コ」とリンクしています。

こちらに従って点数をつけて頂きたいと思っています。

「提案内容」の「キ」「ク」の価格に関しては、選定基準に入れていません。

各社縫製方式としましたので、多数のメーカーに作って頂いて販売店が売ること競争の原理が働き安価となるものなので、選定基準から外しました。ただし提案としては聞くべき要素であるため、提案内容に記載しているものです。

委員長)

事務局からの説明がありました、実施要領と制服見直しにかかる今後の進め方について、ご意見を頂きたいと思いますが、二点に分けて考えたいと思います。

まず、新しい制服の決定方法についてを、一点目としたいと思います。

資料内のフローを改めてご覧頂きたいのですが、第一次選定として本委員会のメンバーでコンペを実施し、二次選定として保護者や教員に投票頂くものになっています。この流れで大丈夫でしょうか。

二点目として、実施要項としてこの資料の通りで良いか議論いただきたいと思います。

特に、「提案の内容」を見て業者がデザイン案を提案してきますので、この内容でよいか。「選定基準」について、委員の我々が評価するにあたってこの指標でよいか。検討頂きたいと思います。

まず、決定方法について、P1 のフローの流れでよいでしょうか。

森川委員)

予定として「巡回展示」と書かれている点について、各学校に見本が展示され、また、小学校5年6年生も二次選定の際は投票すると読み取っていますが、合っていますか。

事務局・安部課長)

事務局案としては、今後制服を着ることになる小学生の意見も聞きたいとして計画しています。

森川委員)

今後着用することになる子どもに、希望を聞いてもらえるのはありがたいと思いますが、実際制服を着ていない5年6年の児童は、中学生が改善を求めている「寒暖差への対応」や「きゅうくつき」をイメージして投票することはできないと思います。

中学生の意見まで思いを巡らせて投票をしようと思うと、小学校は保護者の意見を重視したいと思います。

そのため、例えば4月中旬のPTA総会で体育館への展示を頂いたり、一学期には授業参観もあるのでその時に展示頂いたりするなどして、多く保護者に制服改定の動きを知ってもらおうとともに投票頂くようなやり方が良いと思います。

展示の機会を長くして、学校の都合とも調整頂き、多くの保護者に見て頂けるよう

な巡回展示をして欲しいと思います。

事務局・安部課長)

資料2のP5をご覧ください。

今後のスケジュールを記載していますが、「令和6年4月導入」を目指そうとすると、令和5年の5月にはデザインを決定し工場で作りはじめないと、令和5年11月の令和6年度新中1の制服採寸に間に合いません。

ゆっくり巡回展示をして令和7年の導入を目指す手もありますが、少しでも早く子どもたちの不便さを改善したいとして、事務局としては令和6年4月に間に合うように現在スケジュールを持っています。

すると、巡回展示のスケジュールもタイトになってしまうというものです。

櫻井委員)

タイトになるのは分かりました。

しかしながら、令和5年1月20日にデザイン3点の決定通知をしたとして、早くも巡回展示ができるのは翌週からになると思います。

すると、卒業式までに5週間、修了式まで8週間と時間がありません。

何個か見本があったとして中学校9校ならばなんとかなるかもしれませんが、小学校も含めて全25校を、保護者にも見て頂きつつ巡回するとなると、よほど計画的に進めないと難しいのではないのでしょうか。

大事なことを決定するのに、拙速に見本を見て感覚で投票するようなことでよいのかと感じてしまいます。

中学校3年生は1月20日から入試が順次始まり、2月には公立高校の入試日もあります。そんな中で投票させることの是非も、一度検討したいとも思います。

中学校3年生は、自分たちが着るわけではないのに、今回のアンケートにとっても真摯に向き合っていましたので、もちろん投票させてあげたいという気持ちはありますが、入試の日は3時間で下校するなどしますし、進路の大事な時期にこのタイトな日程で進めることはできるのでしょうか。

見本は何セットぐらいあり、どれぐらいの期間各学校においておけるのでしょうか。

保護者へは、「現物を見てください」ではなく、「現物を見てもよいですよ」ということでよいのでしょうか。学校へ何時保護者を呼ぶのか、心配になります。

また、そもそも業者はこのスケジュールで募集して、1月13日に提案が間に合うのでしょうか。

委員長)

スケジュールについての意見が出ましたが、ほかに何かありますか。

辻ノ上委員)

そもそも、「制服一式」というのは、何と何のことでしょうか。

ジェンダーの事も考えての「制服一式」なのではないでしょうか。

事務局は先ほどスラックスとスカートと言っていましたので、男子も女子も自由にボトムが選べるとして「制服一式」なのではないでしょうか。

事務局・安部課長)

資料 2P3 の留意事項にあるように、費用は業者負担としています。そのため、見本は1セットしか用意できないと情報を得ています。

提案自体は、募集から一か月あれば可能と聞いています。

「制服一式」は、あえて「一式」と表記しています。

他都市の例をみると、見直しを行った市町は、ほとんどがブレザータイプになっています。選定基準に「寒暖差への対応」と記載すると、おそらく小牧市にもブレザータイプの提案が来ると予測しています。

しかしながら、ブレザータイプでも「男子用ブレザーとスラックス、女子用ブレザーとスラックス、女子用ブレザーとスカート」の提案である場合と、「ユニセックスのブレザーとスラックス」の提案である場合など、市町によっていろいろなパターンがあります。

コンペ参加業者は愛知県内の制服を提供している業者でお願いしているのです。そういった今までの知識や経験を踏まえて提案を頂きたいとして、「制服一式」と書いています。

永井委員)

提案の内容がぼやけていると感じます。もう少し細かく指定することは、他市町はしていないのでしょうか。

事務局・安部課長)

私学は細かく指定している印象はありますが、小牧市としては業者の経験に基づいた提案への期待があり、細かい設定はしていません。

永井委員)

例えば、アンケート結果に雨への配慮はでていないが、他市町ではわざわざ「撥水性」と記載しているところもある。

つまり、小牧市はそういったことは業者に任せるということで理解しました。

辻ノ上委員)

一括縫製か各社縫製か説明がありました。各社縫製方式であれば、ユニクロやGUといった低価格のアパレルメーカーが参入することはできるのでしょうか。

要領に「愛知県で実績のある業者」と記載があります。私立高校はいろいろなメーカーを採用していると思います。「愛知県で制服をつくったことがある…」となると、選択肢が増えるのか疑問です。

「アパレルメーカーなら何でもよい」ではどうでしょうか。デザインは凝ったものでなくても良いのですが、どんなアパレルメーカーでも良いとすれば、安価にできるのではないのでしょうか。

また、要領の「目的」について、この委員会の意見でも「いろいろなことで苦しんでいる子へ対応できる制服の見直し」というものがあつたかと思いますが、「目的」に「ジェンダーの面からいろいろなニーズにこたえられる」というような記載はなくてもよいのでしょうか。はっきり書かないほうが良いのでしょうか。

委員長)

「愛知県で制服の販売実績があるところのみ」という点についてと、「ジェンダーの部分を中心に明記すべきではないか。」という点について意見が上がりましたが、他に意見はありますか。

山本委員)

アンケートの中に、「制服の中のカーディガンやベストの導入」というものがあったと思います。

「ブレザーの中に何か着たい」となったとして、「制服じゃないから着てはいけない」や、自由に着ても良いとなったとしても、「子どもにみんなと一緒に物が良いと言われても高くて買えない家庭もある」など、いろいろ問題が出てくるように思います。

そういった、例えば「寒暖差への対応」について、業者はそこまで考えて提案してくれるのでしょうか。“あえて細かく指定せず「制服一式」として業者に任せる”では不安です。

スケジュールもタイトなので、今後子どもたちがずっと着るものなのに、「これしか選べない」というような妥協で決まるようなことは起こらないかととても心配です。

牧野委員)

アンケートには、ポロシャツの着用を希望する意見があったと思います。

実際高校生のポロシャツ姿は、涼しそうで良いと思っています。

保護者としては、ポロシャツも実物が見たいです。中に着るものは今後ということではなく、検討の予定があるなら、最初から見たいと思います。

委員長)

この要領では、第一次審査は外身だけで、ポロシャツ等は今後各校で検討するとし、学校毎に独自性を出してもよいとする。と説明があったかと思います。その点についての意見があがりましたが、その他に意見はありますか。

事務局・高堀指導主事)

見直しの目的について、ジェンダーの話が先ほどあがりましたが、スタートとしては「寒暖差へ対応できるものを」となると思います。そのうえで、業者としてジェンダーの部分に考慮した提案がなされれば、時代の流れに応じた提案であるということだと思います。しかしながら、一番にはやはり「寒暖差へ対応できるものを」ということだと考えます。

事務局・安部課長)

タイトなスケジュールの中、入試で忙しい中学校3年生に投票をさせることの是非について、改めて委員の皆様にご意見を伺いたいです。

事務局としては、アンケートへ協力してくれた子どもに投票いただきたいと考えていましたが、中学校3年生を投票から外すことでスケジュールに余裕が出てきます。

山本委員)

中学校3年生には投票してほしいと思います。今の3年生が一番制服を着ています。その意見は大切だと思います。

また、業者負担なので見本は1セットしかないという説明がありましたが、それでは4月に予定を伸ばしても無理なスケジュールなのではないでしょうか。

1週間も学校に置けず、1日2日しか置けないなかで、子どもも保護者も見なければならぬということになると思います。今後も新型コロナウイルスにより学級閉鎖もあると思いますし、どうなのでしょう。

公共施設にも数日しか置かれないスケジュールだと思いますので、いつどうやって本物を目にできるのか、とても不安です。

ちょっと無理があるのではないかと思います。

子どもは学校で見れるとよいですが、保護者に関しては、「学校にこの2日間に見に来てください」となってしまうなら、「〇〇に一定期間展示してあるので見に行ってください」とした方がよいと思います。それでも、その一定期間が短いと、共働き家庭が多いなか、やはりこのスケジュールでは難しいのではないのでしょうか。もう少しゆとりが欲しいです。

これから先ずっと使うものなので、金額も大きな話ですし、ゆとりを持つことは難しいのでしょうか。

事務局・安部課長)

展示のスケジュールがはっきり申し上げられなくて申し訳ありません。スケジュールはきちんと詰めて、今後改めて皆様へお話ししたいと思います。

この場では、1月13日のコンペ実施についてご意見があれば伺いたいと思います。

委員長)

事務局からありましたように、スケジュールについては後日改めてとしまして、コンペの実施要項についてご意見があれば伺いたいと思います。

最終的には資料2P8を基に、ここにいる委員で審査することになりますが、選定基準としてはこれで大丈夫でしょうか。

永井委員)

提案する業者の数はいくつの想定でしょうか。タイトな日程だが、子どもたちが、ボタンのデザイン等に関わるということはできないでしょうか。

事務局・安部課長)

リボンやボタン、シャツ等は今回のコンペでは選定いたしません。そのあたりは、仕様決定後の令和5年5月以降に、各学校で決めて頂くものとなります。

櫻井委員)

ポロシャツを選ぶ学校もあり、シャツを選ぶ学校もありということですが、購入は、制服販売店でなくてよいのでしょうか。

コンペでは決定しないという部分は、今後どのような手順でどのように決まっていくのでしょうか。どこまで各学校で決定してよいのでしょうか。

事務局)

リボンを採用するかどうか、ポロシャツを採用するかどうかは、全校で情報共有しながら、教員目線や子どもたちの意見も含めて、検討していくこととなります。

森川委員)

そのあたりを、5月から半年で各校にて議論する予定になってはいますが、生徒会等も絡めて子どもたちの意見も募ってとなると、期間的に中学校は対応できるのでしょうか。

櫻井委員)

その期間で決めなさいと言われたならばとは思いますが、せっかく各校で決めてよいならば、子どもとともに考えたいので、厳しくはあります。

事務局・采女管理指導主事)

タイトなスケジュールの中、いろいろなことを並行して進めなければならず、心配するご意見を頂いているのだと思います。

確かにスケジュールはタイトなのですが、実は校長会で「子どものために一年でも早く見直しをしてほしい」という中学校校長の意見も収集しています。

また、他市町では巡回展示をせず、画像だけで投票を実施したところもありますが、小牧市としては実物を見て頂きたいという思いがあります。

コンペを実施すると、具体的な情報がでてきます。

本委員会の委員長は、生徒指導連絡協議会の会長でもあります。生徒指導連絡協議会へ二次選定と並行して情報提供を行い、準備を進めたいと考えています。

じっくり丁寧にという部分と一年でも早くという部分と両方をもって調整を進めてまいります。

スケジュールについて心配は尽きないと思いますが、そこについては、流動的であるとして了承いただきたいと思います。

あいさつでも申し上げましたが、この制服の見直しで新たな学びの場を構築したいという思いがあります。

予定の方法によると、ボタンやワンポイントなど学校によって差がでてきます。学校の中で検討して自身の生活を見直して、ということをしていただきたいです。

いろいろな要素が複合的に絡み合うということで、ご承知いただきたいと思います。

委員長)

中学校長としては、身が引き締まる思いです。

制服の外身がコンペで決まるとして、中身で学校の独自性が出せるとよいと思います。

堀田委員)

コンペ実施要領について、先ほどから意見が出ているジェンダーについて、審査基準に明記したほうがよいのではないのでしょうか。

委員長)

ジェンダーについて明記するかどうか、いろいろ意見が出ていますが、委員のなかで、教員の先生方としてはどうでしょうか。

兼子委員)

多様性については勉強会に出席し学んでいますが、その中で、そういった悩みをも

つ当事者たちは「自分たちは、ジェンダーレスの制服が着たいわけではない」と思っているということを知りました。当事者は「女の子の制服が着たい」、「男の子の制服が着たい」ということです。

ジェンダーレスと書いてしまうと、男女総合的なデザインの提案が出ることになるかと予測されますが、そういうことではないということです。

結局は、子どもたちが「何を選ぶか」ということになりますが、「それならばすべての子どもの多様性に應えるべき」となると、「小牧市の〇〇中学校の生徒としての制服」であるはずなのに、「制服によらず何を着てもいいのか」という議論にもなり、どこを基点に考えていいのか悩ましいと思います。

明記するのか、明記するならどう書いたらよいかは、難しいところだと思います。

永井委員)

業者は価格を提示してくるのでしょうか。価格については、アンケートにも多くの意見が寄せられています。

事務局・安部課長)

各社縫製方式になるので、価格の提案はありません。

事務局・山下係長)

制服の価格については、デザインが決定した後、各社が機能をつけそれにより決まるものなので、保護者が買う段階で、どれぐらいの機能を付けたものを求めるかによります。

また、夏冬でボトムの生地を変えることも希望するのであれば、保護者は二種購入することになりますし、そうでなければ一種購入で済むということになります。

辻ノ上委員)

最初のコンペで仕様が選ばれたメーカー以外の他社は、デザイン料を支払ったうえで制服を作るのでしょうか。そうであれば、凝ったデザインの高価になる仕様の提案がなされる、全体が高価になってしまうのではないのでしょうか。

事務局・安部課長)

資料 2P5 に記載のとおり、デザインは小牧市に帰属されるので、デザイン料が発生することはありません。

事務局)

資料 2P4 に記載の通り、価格については選定基準として点数化はしませんが、提案内容として「従来のもより価格が増えないことが望ましい…」と記載をしています。

山本委員)

「これぐらいの価格だろう」は業者と市や保護者で感覚が違うことはあると思います。「これぐらいの価格」として数字を示せないのでしょうか。提示があれば業者としても想定がしやすいのではないのでしょうか。

事務局・山下係長)

このコンペではメーカーの選定をします。販売店が機能や価格を競争するものなので、メーカーへ価格の提示をしても、影響がありません。そのため、コンペでは「販

売店が価格を抑えられるようなメーカーとしての提案」をお願いします。

委員長)

販売店が価格競争をするということですが、コンペでどのデザインを選んでも選ぶデザインによって大きく価格に差が出ないということでしょうか。

事務局・安部課長)

機能をたくさんつけると高いが、それをつけなければ価格を抑えられるということになります。

櫻井委員)

作る業者はたくさんあるのでしょうか。

一業者さんがハイグレードの物や安価な物など、何パターンも作るのでしょうか。

桃陵中学校では「鈴屋」で購入する保護者が多いのですが、「鈴屋」さんはいろいろな業者が作った、いろいろなパターンの制服を仕入れて、保護者のニーズに答える。というイメージでよいでしょうか。

辻ノ上委員)

今でも何種類もあり、子どもの制服をよく見るとタグが違います。

委員長)

ジェンダーの話に戻しますと、「当事者はジェンダーレスの制服が着たいわけではない」という兼子委員の意見のとおり、明記しない方向でよいのではないかと思います。どうでしょうか。

また、ほかにご意見はあるでしょうか。

(質問・意見なし)

4 その他

委員長)

それでは、3 その他 ということで、事務局をお願いします。

事務局：小林主査)

次回、第3回の当委員会の開催についてご連絡申し上げます。

今回は、来年1月13日午後を予定しております。この日にコンペを実施いたします。開催の開始時間につきましては、コンペに参加する事業者数にもよりますので、時間が決定したところでご連絡差し上げます。よろしく願い申し上げます。

委員長)

次に委員の皆様から、何かございましたらお願いします。

せっかくの機会ですので、遠慮なく意見をお願いします。

森川委員)

校長会で外国人児童生徒連絡協議会を担当している立場からですが、小牧市は近隣市町より外国人世帯が多いです。どうしても外国人世帯はこういった情報からおいて

行かれがちです。外国人世帯へ情報提供を、タイトなスケジュールの中ではありますが、丁寧に計画的に行ってほしいと思います。

事務局・采女管理指導主事)

外国人児童生徒連絡協議会のお力を借りながら、進めたいと思います。

委員長)

その他ご意見等ありますか。ないようですので、事務局にお返しします。

事務局：山下係長)

委員の皆様、議事進行にご協力くださり、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第2回小牧市立中学校制服検討委員会を閉会いたします。

<終了>